

2008年11月5日(1/2)

# NEWS RELEASE



株式会社アマダ  
担当 社長室広報グループ  
TEL:0463-96-3105 FAX:0463-94-9781  
URL: <http://www.amada.co.jp>  
〒259-1196 神奈川県伊勢原市石田 200

## シカゴにソリューションセンター完成 アメリカ東部の販売拠点 レーザに注力

アマダ(社長 岡本 満夫)は、北米シカゴに新たにソリューションセンターを完成、10月15日に有力顧客など関係者を招いて披露するとともにグランドオープンした。自動車、半導体、航空機などの主要産業が集まるシカゴを中心にした北米東部地区での効率的な事業展開をはかることを目的に建設したもの。アマダが金属加工機械の総合メーカーとして取り組む板金加工機械、(レーザ)工作機械、切削、プレス of 4事業の販売拠点としてエンジニアリング提案を強化、アマダブランドの浸透をめざす。

完成したソリューションセンターは2階建て、延べ床面積約1万3000㎡の規模。正式名称は「Amada Solution Center in Schaumburg, IL」で、所在地は 180 Amada Court Schaumburg, IL 60173。

ソリューションセンターの中核となるショールームは広さ4,165㎡(117m×35.6m)。柱が一本もなく総ガラス張り。

アマダの経営理念である「お客さまとともに発展する」を实践する顧客のためのソリューション提案施設と教育施設になる。建設費は総額で50億円。

展示スタイルはアイランド(島)方式を採用しており、レーザマシンの Innovation Island (展示マシン=LC-3015F1NT)、パンチングやレーザ、複合機の3つの Blank Island (EMLK3610NT+ASR510M ほか)、ベンディングの Bending Island (ASTRO II 100NT ほか)、ベンディングとジェネファブの Bending General Fabrication

Island (ID-40 II ST ほか) それに工作機械の Metal cutting Island (Mi8, JJ3 ほか) の7つ。

このほか LTC (レーザテクニカルセンター)、システムアップ工場、アマダスクールを併設している。

とくにレーザマシンは最重要商品として訴求することにしており、LTC には LC - 3015F1NT、LC - 4020F1NT、Quattro の3機種を置き、アメリカ市場に適合したレーザ加工情報の基準データ作成とレーザジョブショップ方式による実証加工モニターを実施する。

年間の誘客は2008年10月15日～12月12日までに1,100社、2009年は1月～12月までの1年間に3,000社を見込む。

アマダはこれまでアメリカ西海岸のロスアンゼルスに置いた現地法人アマダアメリカを拠点に営業活動を展開してきた。

しかし①2001年のITバブル崩壊により西海岸のIT関連企業は中国、メキシコにシフトし、板金関連需要は中西部以東が70%となっている

②住宅関連、食品工業、セキュリティ、医療機器、輸送機、農機具などアメリカの内需主導型企業と機械関連はシカゴが中心となっている

③このような状況から今後は精密加工だけでなく中板厚加工や加工形状の多様化などが求められ、レーザを核に今後も確固とした市場が予測できる

④大きな北米市場を捉えるうえでロスアンゼルスとシカゴの2拠点で顧客へのソリューション提案とサポートを行う必要がある

などの理由からセンターの建設に踏み切った。

10月15日のグランドオープンには岡本社長が出席、招待客を前に開設記念スピーチを行った。

以上